

外国ルーツの青少年の自立をささえる 進路・キャリア支援事業

大阪市生野区における外国ルーツの若者の
進路・キャリア支援活動と多文化共生の地域内循環の社会的仕組みづくり事業

NPO法人IKUNO・多文化ふらっと
キャリア相談チーム責任者 水原 修平

社会課題

現状

日本人と比べて、
(1)高校・大学等への進学率が低い
(2)高校中退率、非正規就職率が高い

課題

(1)自己肯定感や将来(進学・就労)への意欲が低くなりやすい

原因①経済力の弱さ
原因②日本語力の不足等による言語・学習のつまずき
原因③同調圧力や社会的障壁によるアイデンティティの揺らぎ

(2)悩みを共有できる仲間等の不足・不在

原因①日本社会とのつながりが少ない保護者との心理的距離間
原因②学校のエデュケーション体制の限界
原因③地域における多様な職種やセクターによる連携・協力関係の未整備

(3)進学・就労情報へのアクセス方法の未整理と機会の未開拓

原因①社会的つながりの希薄化による高校の情報源への偏重
原因②新たに挑戦活躍できる市場・就労機会の未開拓
原因③大学等の高等教育への「特別入試」制度の不十分さ

大阪の課題

現状

他地域と比べて、
(1)高校・大学等への進学率が高い
(2)高校中退率、非正規就職率が低い

理由

同和教育や在日外国人教育を通して育まれた人権の視点を価値を置く教育観の元、様々な教育実践が取り組まれ、その一例として先駆的な「日本語指導が必要な外国人生徒入学者選抜校制度(枠校制度)」の導入及び実践により、格差は正に努めてきた

課題

(1)志願者増により、枠校に入学できなかった生徒が少数散在化

(2)人員が不足している等、支援体制が十分に整っていない少数在籍校に在籍する生徒が増加し、中退率等を引き上げる一因となっている

(3)枠校では、①しんどさを抱える日本人生徒の増加、②外国ルーツの生徒の多様化、③上記による教員の多忙化と教員の世代交代による人員不足

(4)枠校等の制度化に伴い周縁化され、支援につながれてない「日本生まれ日本育ち」や「不就学」等の外国ルーツの若者の存在

活動

参画・教育支援事業「エンパシード」

1-1:外国ルーツの若者の交流・居場所及び社会参画活動

1-2:外国ルーツの若者が主体となった交流・企画活動に対する伴走支援活動

1-3:「クロッシングフェス & いくの万国夜市」の企画・運営への参加活動

1-4:外国ルーツの若者による小中学生支援のためのサポーター養成活動

1-5:生野区内の保幼小学校と連携・協力した多言語絵本の読み聞かせ活動

1-6:当法人作成教育プログラムの生野区内の小中学校等の授業への持込みと外国ルーツの若者が主体となる学びの制度化活動

進学・就労支援事業「ポジドリ」

2-1:大学、企業等の情報の整理・提供活動

2-2:進学・就労に関するキャリア相談会等の啓発活動

2-3:企業等と連携・協力した仕事体験プログラムの開発と拡充活動

2-4:外国ルーツの若者と企業の相互理解と就職等につなげるマッチング活動

2-5:外国ルーツ若者を対象にした大学の特別入試枠の拡充活動

2-6:大学教員・企業家等による外国ルーツ若者を対象にした探求・プロジェクト型学びの活動

短期アウトカム

外国ルーツの若者

多様なエンパワメントプログラム・多文化共生プログラムの参画を通して、自分のルーツの文化を大切に思うことができ、また自己肯定感や自己有用感が向上している。

外国ルーツの若者

多様な進学・就労支援プログラムによる支援を通して、将来(進学・就労)への意欲が向上している。

事業所

生野区を中心にした地域エリアにおける事業所が、外国ルーツの若者の成長や可能性に期待感を抱き、採用に関心を抱いている。

外国ルーツの若者及び保護者

大阪市生野区を中心にした多様なセクター間の連携協力体制を組織化し、重層的かつ横断的な「外国ルーツの若者支援センター(仮)」を構築することで、外国ルーツの若者の進学・就労に関する選択肢が拡がり、幅広い進学及び就労が実現できている。

地域の社会的資源

大阪市生野区における地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)を構築することによって、外国ルーツの若者と保護者を取り巻く社会的資源が豊かになっている。

生野区民

大阪市生野区における地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)を構築することによって、生野区民が、生野区を「外国ルーツ住民が地域住民の一員として安心して暮らすことができるまち」と感じている。

中長期アウトカム

中期アウトカム

外国ルーツの若者及びその保護者

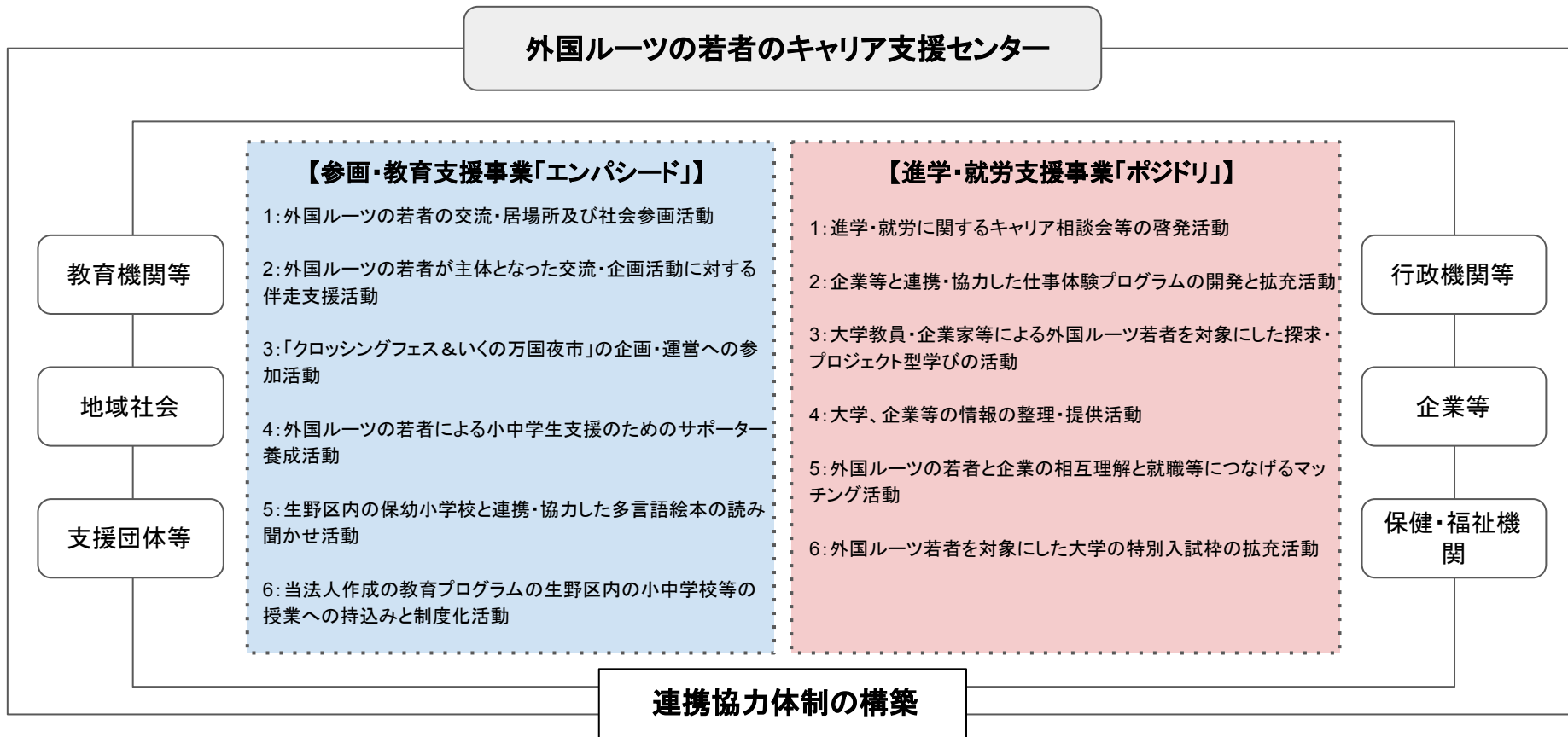
公民産学地域連携による総合的で包括的な「多文化共生のまちづくり」の全国的な地域ロールモデルとなる地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)が開かれ、地域の外国ルーツの若者及びその保護者が、中退率等の進路・キャリアに関する課題から抜け出すきっかけをつくっている状態

長期アウトカム

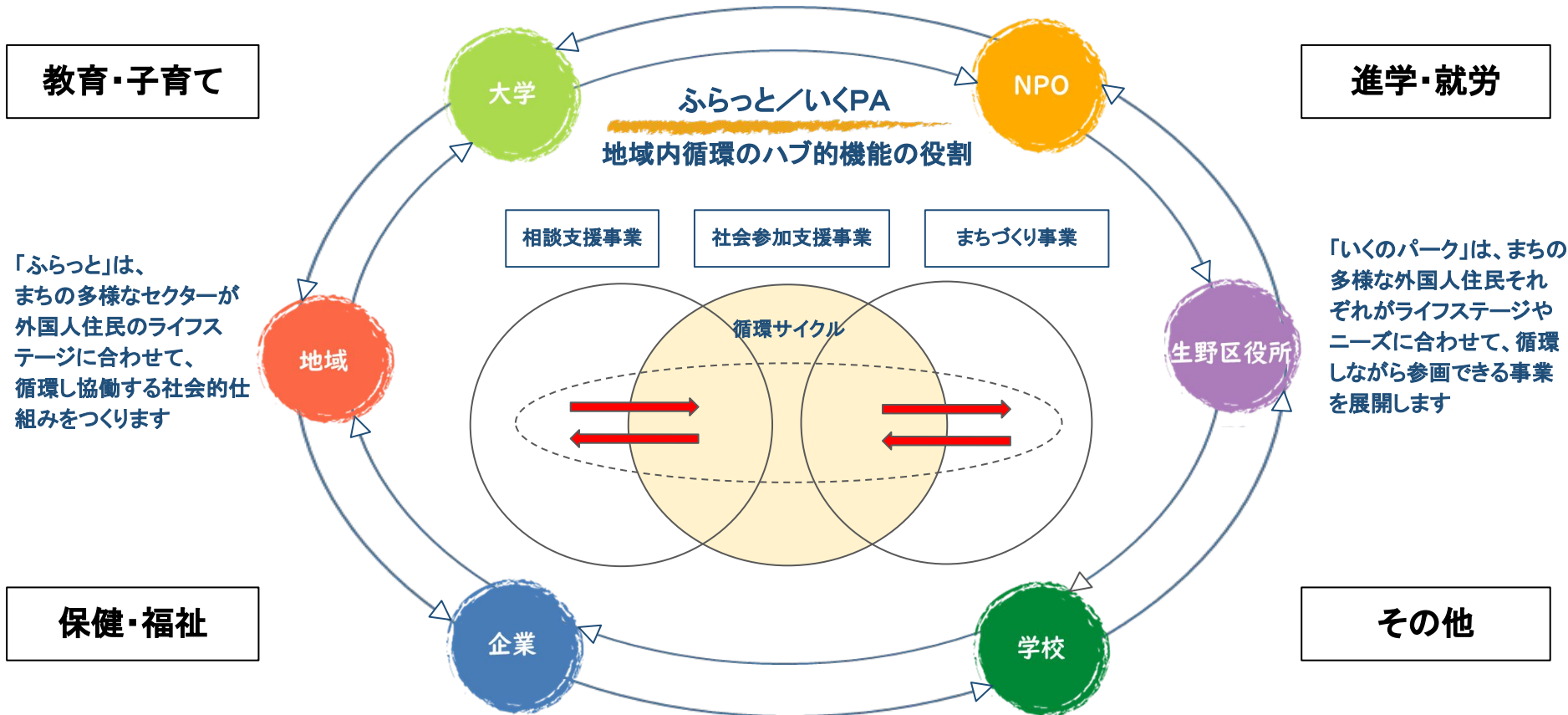
外国ルーツの若者

公民産学地域連携による総合的で包括的な「多文化共生のまちづくり」の全国的な地域ロールモデルとなる地域内循環の社会的仕組み(生野区モデル)の構築により、地域の外国ルーツの若者が、日本と母国を繋ぎ次世代を牽引するグローバル人材として活躍している状態

◇事業構想図



◇生野区における多文化共生の地域内循環の社会的仕組みづくり





**外国ルーツの若者同士がつながり、
互いの個性を認め合いながら、
共に支え合う居場所を創る**



EMPATHY=DO

エンパシード

◇活動報告

1 外国ルーツの若者が少数散在化している私立高校・夜間中学校への実態調査

2 外国ルーツの若者が主体になる多文化共生プログラムの学校への持込みと制度化活動

◇活動報告



Y高校 事務局長 Sさん

- ・日本語指導等に関する体制は何とか整えているが、受験者数や進学者数に課題を感じている。
- ・在校生をエンパワメントする仕組みまでは構築できておらず、中退等の課題を感じている。
- ・外国ルーツの在校生が活躍し、エンパワメントできる機会をつくっていただけるとありがたい。



O夜間中学校 校長 Kさん

- ・「外国ルーツの若者」に相当する生徒が増加多国籍化しており、教職員が対応に困っている。
- ・教職員向けの日本語指導等に関する研修を実施していただけるとありがたい。
- ・「外国ルーツの若者」に相当する生徒が居場所となる機会をつくっていただけるとありがたい。

◇活動報告



〇中学校 校長 Kさん

- ・外国ルーツの生徒の入学が増加し、また多国籍化が進んでいる。
- ・ニューカマーの生徒に対して、母語や母国の文化を学び大切にする機会がなかなか作れていない。
- ・教職員生徒ともに、多文化共生プログラム等を実施していただけるとありがたい。



〇小学校 校長 Oさん

- ・ニューカマーの生徒に対する母語や母国の文化を学び大切にする機会がうまくいっていない。
- ・フィリピン、アメリカ、スペイン等のマイノリティの生徒を対象にした取組みができていない。
- ・一緒に多文化共生プログラム等を企画実施していただけるとありがたい。

◇活動報告

9/14
Saturday

2024



外国につながる子どものための 私立高校・専修学校ガイダンス

大阪府では所得制限を撤廃し、私立高等学校等の授業料を完全無償化する制度が始まりました。進学先として、私立高校等を選択する生徒がこの春の受験でも増加傾向にあります。外国につながる子どもが進学先として選んでいる学校のカリキュラムや支援体制、実際に学ぶにかかる費用等、直接、お話を伺う機会をもちます。ぜひ、ご参加ください。

大阪初の試み！情報共有の場としても！

日程：2024年9月14日（土）
時間：14:00～17:00
参加費：無料

事前申込・先着順 50名
内容：学校紹介／個別相談／交流会
フランク座談会
「どこまでできる？どこまでできる！」

会場 いくのパーク B棟1階 多目的室

お申込みお問合せ WEBフォームまたはお電話にてお申込みください
06-6741-1123

【主催】NPO法人IKUNO・多文化ふらっと



ワーク
ショップ型

2024年度 外国につながる子どもの 日本語/教科学習サポーター養成講座 (ベーシック)

大阪には外国につながる子ども、日本語支援が必要な子どもがたくさん暮らしています。言語や文化的背景の違いで、育りとの関係がうまく作れなかったり、教科の理解が進まなかったりと大変な思いをしている子どもも少なくありません。
本講座では外国につながる子ども支援に必要な多面的な知識、実践の際に必要な視点、具体的な方法を体験を通じて学びます。

6/22
(土)

7/6
(土)

7/20
(土)

8/3
(土)

全4回 10:30～12:00
全回受講で修了証を発行します

対象 外国につながる子どものサポートに興味と意欲のある方（はじめての方大歓迎！）

場所 いくのパーク A棟2階
（大阪府生野区野田5-5-37）

定員 15名程度（先着申し込み順）

受講料 8000円（生野区在住の方は5000円）

昨年度の受講生の声

子どもの気持ちに寄り添うことが、これほど大切だと感じた。具体的な方法を教えてくれたのでとてもありがたかった。

講師

山田文乃 桑井和代
大阪府立生野区立南生野小学校で特別支援学級担任として勤務中

家本理美
NPO法人IKUNO・多文化ふらっと事務局スタッフ、日本語教師

申し込み 参加QRコードまたはメールにてお申込み。ご住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。
info@ikunotankunokafat.org

主催 NPO法人IKUNO・多文化ふらっと
NPO法人クロスベイス
にはんごどもサポート





**外国ルーツの若者が、
前向きに自分の可能性を信じて、
夢を叶える機会を創る**



ポジドリ

無限の可能性を解き放て

◇活動報告

- 1 受入先となる大学・企業へのニーズ調査／啓発活動を実施
- 2 外国ルーツの若者と企業の相互理解と就職等につなげるマッチング活動
- 3 外国ルーツ若者を対象にした大学の特別入試枠の拡充活動

◇活動報告

①誰—社会問題で困っている人

名前:Pくん(男性)、年齢:19歳、国籍:ベトナム、在留資格:定住者、家族構成:一人暮らし

②状況—具体的な現状

<生活状況>

- ・中学3年生から学習支援で繋がり、高校に見事進学したが不登校となり、中退。
- ・母は実父と離婚し、現在は再婚した日本人と暮らしている(継父とも離婚予定)。
- ・実母、継父とも関係が悪く、3年間アルバイトをしながら一人で暮らしている

<仕事>

- ・夜勤アルバイトと居酒屋アルバイトの掛け持ちで勤務し、毎月20万円程の収入がある

<願い>

- ・日本語習得に力を入れていきたいという希望から、夜勤アルバイトを辞めて、新しい仕事を探している



Pくん

◇活動報告



(株)T 代表取締役 Kさん

- ・仕事は安定して受注増の状況だが、働き手・後継者が不足しており、非常に困っている。
- ・日本で育ってきた「外国ルーツの若者」の存在を初めて知った。
- ・異国の地で一生懸命生き抜こうとする姿がとても魅力的で、ぜひとも正社員として迎え入れたい。



K大学 教授 Oさん

- ・私立大学の経営上、進学者獲得は課題となっている。
- ・日本で育ってきた「外国ルーツの若者」にとって、進学の実選択肢を増やしたいと思っている。
- ・「外国ルーツの若者のための特別枠」制度の構築に向けて、積極的に動いていきたい。